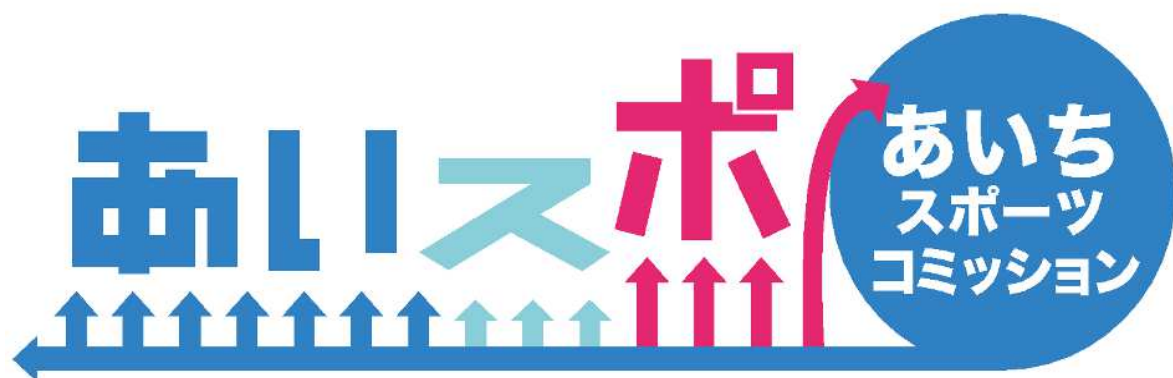


愛知県のスポーツ振興

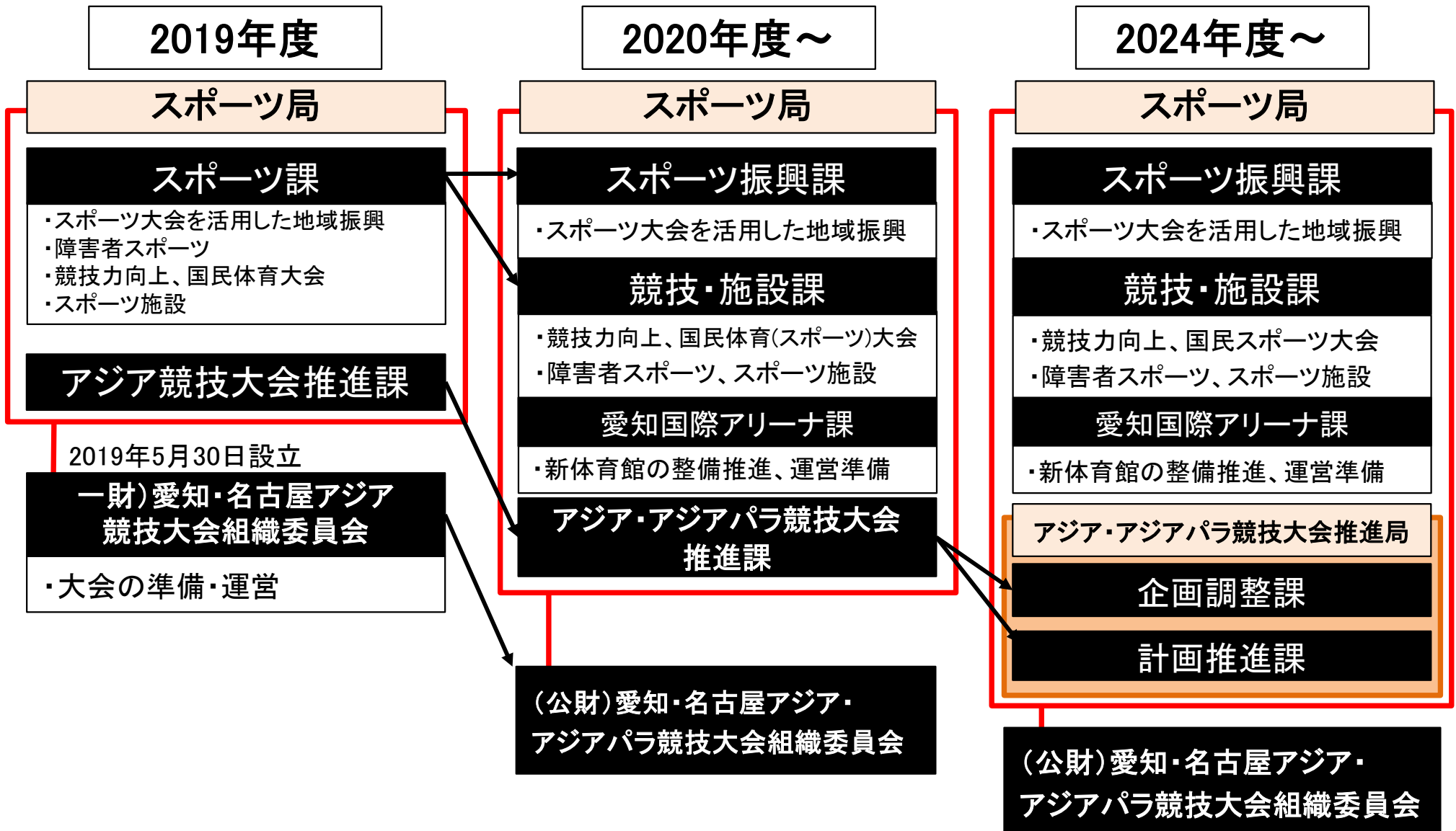
～あいちスポーツコミッションの取組について～



2024年11月26日
スポーツ振興課

スポーツ局について

- 2019年 これまで複数の部にまたがっていたスポーツ関係業務を一元化し、スポーツ局を設置。
- 2020年～スポーツ課をスポーツ振興課、競技・施設課に分割。愛知国際アリーナ課を設置。
- 2024年 スポーツ局内に、局内局としてアジア・アジアパラ競技大会推進局を設置。



あいちスポーツコミッション

設 立 日	2015年4月1日
目 的	全国、世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成をはじめ、 スポーツ大会を活用して地域活性化を図るため、地域の関係者が一体となった取組を推進すること
参 画 団 体	306団体（2024年9月末現在）
事 業 内 容	①スポーツ大会に関する情報収集・発信 ②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進 ア．スポーツ大会及び合宿の招致・誘致 イ．スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ．スポーツ大会に関する助言・協力 ③会員相互の交流 ④その他、本会の目的を達成するために必要な事業
事 務 局	愛知県スポーツ局スポーツ振興課

あいちスポーツコミッション

＜大会招致・
合宿誘致活動＞

＜大会育成活動＞

＜広報活動＞

＜地域活性化
促進活動＞

あいちスポーツコミッション（事務局：愛知県）

種 類	参画団体・企業（306団体） ※2024.9月末現在
地方自治体	県・全市町村
スポーツ関連団体	県スポーツ協会、県教育・スポーツ振興財団、各競技団体、中日ドラゴンズ、名古屋グランパス、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ 等
経済・観光団体	県商工会議所連合会、中部経済連合会、県観光協会、名古屋観光コンベンションビューロー 等
マスメディア	新聞社（全国紙を含む）・テレビ局・通信社
大学	県内大学
企業・NPO等	企業、民間団体等

あいちスポーツコミッション

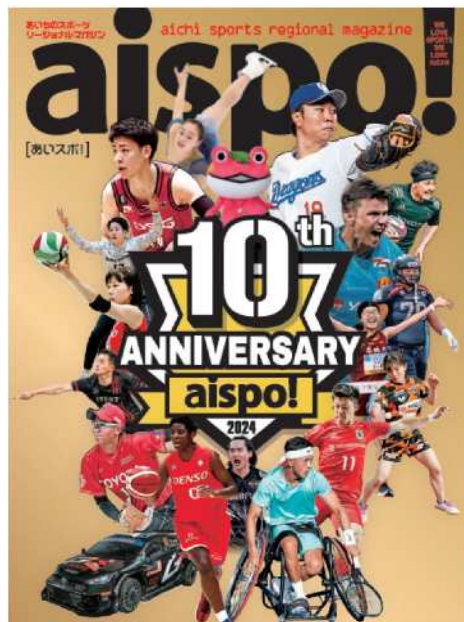
設 立 日	2015年4月1日
目 的	全国、世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成をはじめ、スポーツ大会を活用して地域活性化を図るため、地域の関係者が一体となった取組を推進すること
参 画 団 体	306団体（2024年9月末現在）
事 業 内 容	①スポーツ大会に関する情報収集・発信 ②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進 ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致 イ. スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ. スポーツ大会に関する助言・協力 ③会員相互の交流 ④その他、本会の目的を達成するために必要な事業
事 務 局	愛知県スポーツ局スポーツ振興課

①スポーツ大会に関する情報収集・発信

① フリーマガジンによる情報発信

【フリーマガジン「aispo!」】

- ・県内で開催されるスポーツ大会やプロ・実業団チームの活動などを紹介
- ・県内の名鉄主要各駅、スポーツ施設やスポーツショップ等で配布（年4回）
- ・10月28日には、通常版とは別に、10周年を記念した特別号を発行



フリーマガジン「aispo!」



<参考>

- ・コミッション公式マスコットキャラクター

◇名 称：あいスポくん

◇誕生日：2021年10月10日

◇趣 味：スポーツ、グルメ観光

◇特 長：自由に体の色を変更可能



2023年11月
本庁舎公開イベントでのステージ

①スポーツ大会に関する情報収集・発信

② Webサイト・SNSによる情報発信

【 あいちスポーツコミッション情報サイト 】

- ・スポーツ施設情報やスポーツ大会開催実績、各市町村によるスポーツ大会・合宿支援メニューを掲載



Web「あいちスポーツコミッション」

【 愛知県の「みる」スポーツ情報サイト「aispo!web」 】

- ・県内のスポーツ大会情報やプロスポーツチーム・実業団チームの情報を発信
- ・Facebook, X, Instagramでリアルタイムに配信
- ・スポーツ大会の現地レポートやフリーマガジン「aispo!」と連動した記事をwebに掲載



Facebook



X
(旧Twitter)



Instagram



Web「aispo!web」



あいちスポーツコミッション

設 立 日	2015年4月1日
目 的	全国、世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成をはじめ、スポーツ大会を活用して地域活性化を図るため、地域の関係者が一体となった取組を推進すること
参 画 団 体	306団体（2024年9月末現在）
事 業 内 容	①スポーツ大会に関する情報収集・発信 ②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進 ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致 イ. スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ. スポーツ大会に関する助言・協力 ③会員相互の交流 ④その他、本会の目的を達成するために必要な事業
事 務 局	愛知県スポーツ局スポーツ振興課

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

第20回アジア競技大会

第5回アジアパラ競技大会

の推進

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）の概要

大会期間：

2026年**9**月**19**日（土）～**10**月**4**日（日）（**16**日間）

参加者数（選手団_(選手・チーム役員)）：

最大**15,000**人

実施競技数：**41**競技

メイン会場：**名古屋市瑞穂公園陸上競技場**

参加国・地域：アジア・オリンピック評議会（OCA）に加盟する**45**の国と地域



②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

アジア競技大会とオリンピックとの比較

愛知・名古屋2026アジア競技大会

選手団
(選手・チーム役員)
最大**15,000人**

競技数
41 競技

主催者
O C A
(アジア・オリンピック評議会)

開催周期
4年

東京2020オリンピック競技大会

選手団
(選手・チーム役員)
約**18,000人**

競技数
33 競技

主催者
I O C
(国際オリンピック委員会)

開催周期
4年

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

大会スローガン	大会エンブレム	公式マスコット
IMAGINE ONE ASIA ここで、ひとつに。	 20th Asian Games Aichi-Nagoya 2026	 ホノホン

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

<アジア競技大会実施競技>

○ 2024年パリオリンピックで実施された32競技

水泳	アーチェリー	陸上競技	バドミントン	バスケットボール
ボクシング	カヌー・カヤック	自転車競技	馬術	フェンシング
サッカー	ゴルフ	体操	ハンドボール	ホッケー
柔道	近代五種	ローイング	ラグビー	セーリング
射撃	卓球	テコンドー	テニス	トライアスロン
バレーボール	ウェイトリフティング	レスリング	ブレイキン	スケートボード
スポーツクライミング	サーフィン			

○ アジア5地域の普及を考慮して決定される競技

クラッシュ	武術太極拳	カバディ	セパタクロー	柔術
-------	-------	------	--------	----

○ 組織委員会が提案する2競技

野球・ソフトボール	空手
-----------	----

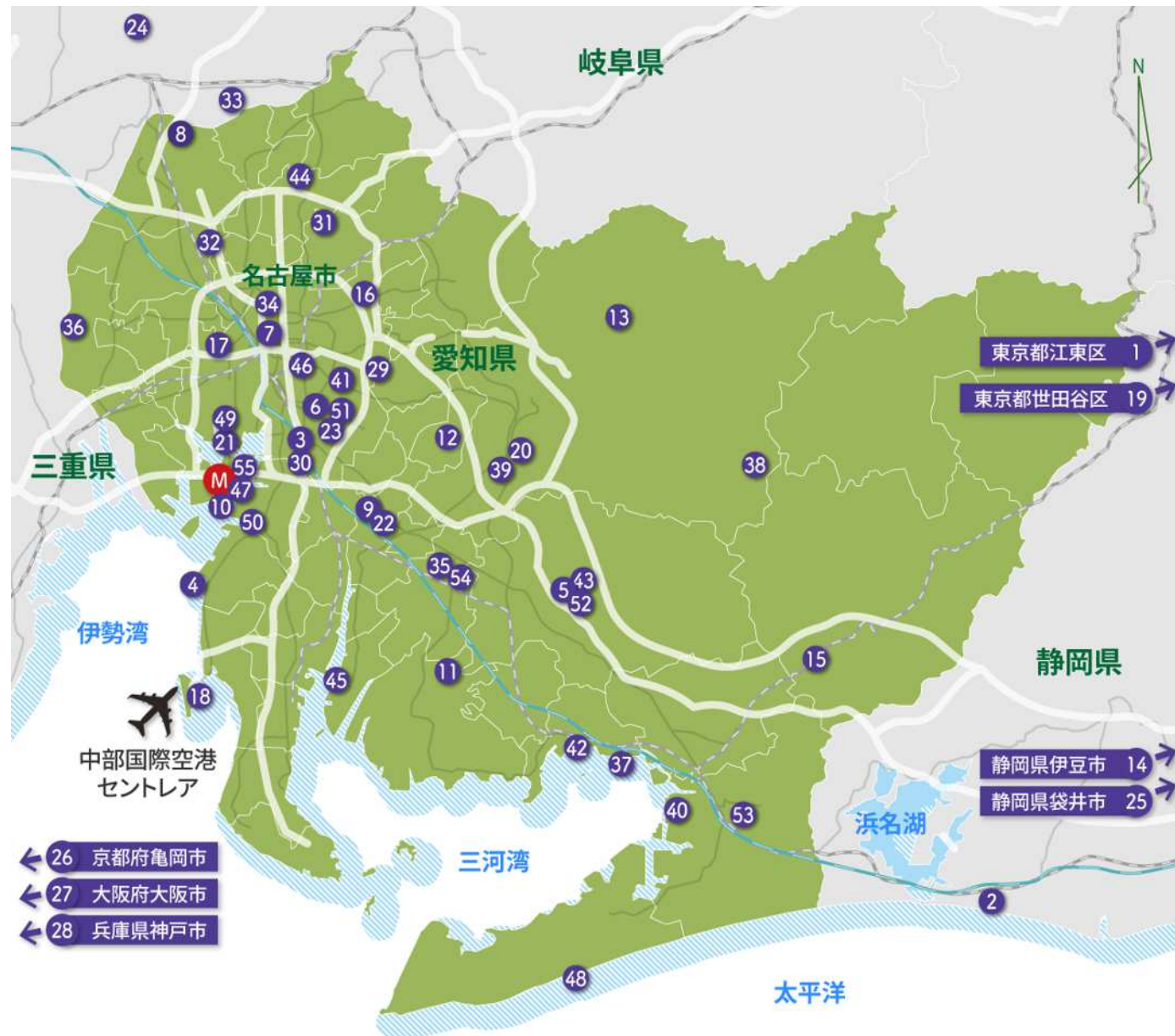
○ アジア・オリンピック評議会（OCA）が提案する2競技

スカッシュ	eスポーツ
-------	-------

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

会場マップ



②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

<アジア競技大会競技会場（１）>

競技	種別等	仮決定会場(2023年12月時点)
1 水泳	競泳／飛込	1 東京アクアティクスセンター
	アーティスティックスイミング	2 古橋廣之進記念浜松市総合水泳場〔ToBiO〕
	水球	3 名古屋市総合体育館〔レインボープール〕
	マラソンスイミング	4 新舞子マリナパーク
2 アーチェリー		5 岡崎中央総合公園多目的広場他
3 陸上競技	トラック／フィールド	6 名古屋市瑞穂公園陸上競技場
	マラソン	6 名古屋市瑞穂公園陸上競技場(都心コース)
	競歩	7 愛知県庁・名古屋市役所周辺コース
4 バドミントン		8 一宮市総合体育館
5 バスケットボール	バスケットボール	9 ウイングアリーナ刈谷
	3×3	10 金城ふ頭駅前特設コート
6 ボクシング		11 西尾市総合体育館
7 カヌー・カヤック	スプリント	12 三好池
	スラローム	13 矢作川カヌースラロームコース
	トラックレース	14 伊豆ベロドローム
	ロードレース	15 新城市内発着コース
8 自転車競技	マウンテンバイク	16 小幡緑地
	BMXレース	17 名古屋競輪場BMXレースコース
	BMXフリースタイル	18 愛知県国際展示場〔Aichi Sky Expo〕
9 馬術	馬場馬術／総合馬術／障害馬術	19 JRA馬事公苑

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

<アジア競技大会競技会場（２）>

競技	種別等	仮決定会場(2023年12月時点)
10 フェンシング		18 愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo] 20 豊田スタジアム 21 名古屋市港サッカー場 22 ウェーブスタジアム刈谷 23 名古屋市瑞穂公園ラグビー場 24 長良川競技場 25 小笠山総合運動公園エコパスタジアム 26 京都府立京都スタジアム 27 長居陸上競技場 28 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場 29 愛知カンツリー倶楽部東山コース
11 サッカー		30 名古屋市総合体育館[レインボーホール] 31 春日井市総合体育館 32 豊田合成記念体育館[エントリオ] 33 岐阜県グリーンスタジアム 34 愛知県新体育館[愛知国際アリーナ] 35 安城市総合運動公園陸上競技場他 36 長良川国際レガッタコース 23 名古屋市瑞穂公園ラグビー場 37 海陽ヨットハーバー 38 愛知県総合射撃場
12 ゴルフ		
13 体操	体操／新体操／トランポリン	
14 ハンドボール		
15 ホッケー		
16 柔道		
17 近代五種	レーザーラン／障害物レース／ フェンシング／水泳	
18 ローイング		
19 ラグビー		
20 セーリング		
21 射撃		

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

<アジア競技大会競技会場（３）>

競技	種別等	仮決定会場(2023年12月時点)
22 卓球		39 スカイホール豊田
23 テコンドー		40 豊橋市総合体育館
24 テニス	テニス／ソフトボール	41 名古屋市東山公園テニスセンター
25 トライアスロン		42 蒲郡市内特設コース
26 バレー ボール	バレーボール	43 岡崎中央総合公園総合体育館
		44 小牧市スポーツ公園総合体育館
	ビーチバレーボール	45 碧南緑地ビーチコート
27 ウエイトリフティング		46 名古屋市中小企業振興会館
28 レスリング	フリースタイル／グレコローマンスタイル	34 愛知県新体育館[愛知国際アリーナ]
29 ブレイキン		34 愛知県新体育館[愛知国際アリーナ]
30 スケートボード		18 愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo]
31 スポーツクライミ ング		47 名古屋市国際展示場[ポートメッセなごや]
32 サーフィン		48 田原市赤羽根町大石海岸(ロングビーチ)他

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

<アジア競技大会競技会場（４）>

競技	種別等	仮決定会場(2023年12月時点)
33 クラッシュ		49 愛知県武道館
34 武術太極拳		49 愛知県武道館
35 カバティ		50 東海市民体育館
36 セパタクロ		51 名古屋市瑞穂公園体育館
37 柔術		49 愛知県武道館
38 野球・ソフトボール	野球	52 岡崎中央総合公園野球場
		53 豊橋市民球場
	ソフトボール	54 安城市総合運動公園ソフトボール場
39 空手		40 豊橋市総合体育館
40 スカッシュ		55 名古屋金城ふ頭アリーナ
41 Eスポーツ		18 愛知県国際展示場[Aichi Sky Expo]

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）の概要

大会期間：**2026**年**10**月**18**日（日）～**24**日（土）（**7**日間）

参加者数（選手団(選手・チーム役員)）：**3,600～4,000人**

実施競技数：**18**競技

メイン会場：**名古屋市瑞穂公園陸上競技場**

参加国・地域：アジアパラリンピック委員会（APC）に加盟する**45**の国と地域

これまでの
開催地

2010年：第1回大会（中国・広州）
2014年：第2回大会（韓国・仁川）
2018年：第3回大会（インドネシア・ジャカルタ）
2023年：第4回大会（中国・杭州）

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

アジアパラ競技大会とパラリンピックとの比較

第5回アジアパラ競技大会

選手団

(選手・チーム役員)

3,600人～
4,000人

競技数

18 競技

主催者

A P C

(アジアパラリンピック委員会)

開催周期

4 年

東京2020パラリンピック競技大会

選手のみ

約4,000人

競技数

22 競技

主催者

I P C

(国際パラリンピック委員会)

開催周期

4 年

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

大会スローガン	大会エンブレム	公式マスコット
IMAGINE ONE HEART こころを、ひとつに。	 5th Asian Para Games Aichi-Nagoya 2026	 ウズミン

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

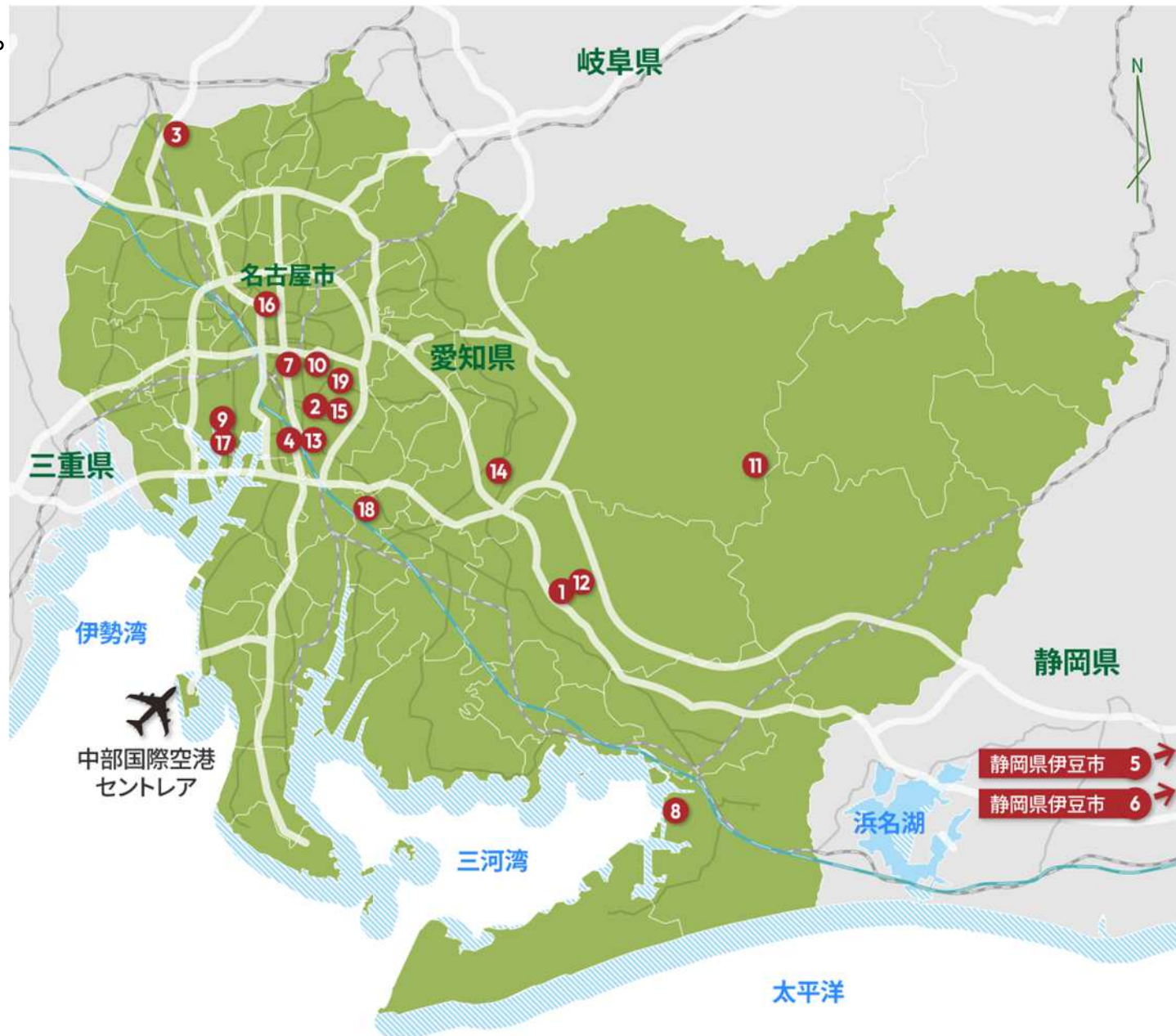
ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

競技	種別等	仮決定会場（2023年12月時点）
1 アーチェリー		1 岡崎中央総合公園多目的広場他
2 陸上競技		2 名古屋市瑞穂公園陸上競技場
3 バドミントン		3 一宮市総合体育館
4 ボッチャ		4 名古屋市総合体育館〔レインボーホール〕
5 自転車競技	トラックレース	5 伊豆ベロドローム
	ロードレース	6 日本サイクルスポーツセンターサーキット
6 ブラインドフットボール		7 名古屋市鶴舞公園多目的グラウンド〔テラスポ鶴舞〕
7 ゴールボール		8 豊橋市総合体育館
8 柔道		9 愛知県武道館
9 パワーリフティング		10 名古屋市中心企業振興会館
10 射撃		11 愛知県総合射撃場
11 バレーボール（座位）		12 岡崎市中央総合公園体育館
12 水泳		13 名古屋市総合体育館〔レインボープール〕
13 卓球		14 スカイホール豊田
14 テコンドー		15 名古屋瑞穂公園体育館
15 車いすバスケットボール		16 愛知県新体育館〔愛知国際アリーナ〕
16 車いすフェンシング		17 名古屋市稲永スポーツセンター
17 車いすラグビー		18 ウィングアリーナ刈谷
18 車いすテニス		19 名古屋市東山公園テニスセンター

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致

会場マップ



あいちスポーツコミッション

設 立 日	2015年4月1日
目 的	全国、世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成をはじめ、スポーツ大会を活用して地域活性化を図るため、地域の関係者が一体となった取組を推進すること
参 画 団 体	306団体（2024年9月末現在）
事 業 内 容	①スポーツ大会に関する情報収集・発信 ②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進 ア. スポーツ大会及び合宿の招致・誘致 イ. スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ. スポーツ大会に関する助言・協力 ③会員相互の交流 ④その他、本会の目的を達成するために必要な事業
事 務 局	愛知県スポーツ局スポーツ振興課

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

イ. スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ. スポーツ大会に関する助言・協力

F I A世界ラリー選手権（WRC）フォーラムエイト・ラリージャパン

- 国際自動車連盟（F I A）が主催し、1973年に創設したラリー最高峰に位置する世界選手権。愛知・岐阜では2022年に初開催された。
- 今年は、シーズン最終戦として11月21日～24日に愛知・岐阜で開催された。

ラリーとは

主に公道（郊外の峠道や林道）でタイムアタックする自動車競技。ドライバーとコドライバー（ナビゲーター）の2名1組で競技車に乗り、指定された区間（SS：スペシャルステージ）を一台ずつ走行して総合タイムを競う

＜大会概要＞ 2024年11月21日(木)～24日(日)

＜場 所＞ 豊田スタジアム及び周辺自治体の一般公道・林道・農道
(岡崎市・豊田市・新城市・設楽町・中津川市・恵那市)

＜競技主催＞ トヨタモータースポーツクラブ、MOSCO、豊田市

＜興行主体＞ ラリージャパン2024実行委員会

(豊田市、恵那市、MOSCO、トヨタモータースポーツクラブ、豊田まちづくり(株))

＜観戦者数＞ 約54万人（沿道での観戦者含む）※2023年実績

＜参加台数＞ 35台 ※2023年実績



②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

イ. スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ. スポーツ大会に関する助言・協力

F I A世界ラリー選手権（WRC）ラリージャパン

<県の取組>

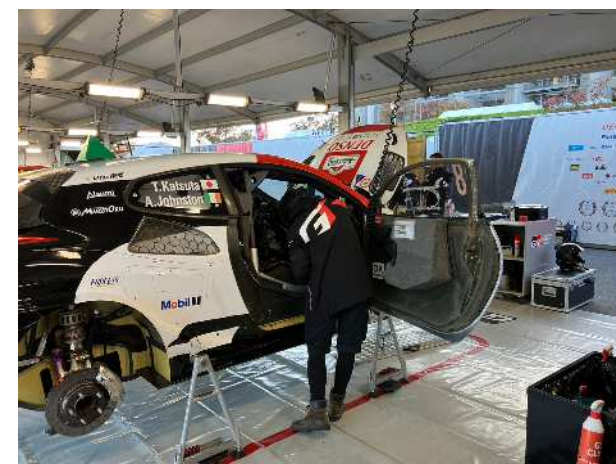
- ・公共交通機関での歓迎装飾の実施
- ・名古屋駅でのラリー車両の展示及び大会PR（サンプリングなど）
- ・大会会場でのステージイベントの開催
- ・オリジナルランドセルカバーの配布
- ・パブリックビューイングイベントの開催
- ・愛知県知事賞（七宝額絵、あいちの花）の贈呈
- ・学生を対象としたサービスパーク等の見学会の実施 など



JR名古屋駅コンコース
ラリーカー（ヤリスWRC）展示



サービスパーク等の見学会の様子



②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

イ. スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ. スポーツ大会に関する助言・協力

奥三河Trail Running Race

- 林道、砂利道、登山道などの未舗装路を走るトレイルランニング大会として、2015年から開催
- 2023年まで「奥三河パワートレイル」



【前回開催日】 2024年10月27日（日）

＜主催＞ 奥三河Trail Running Race実行委員会
（愛知県、新城市、設楽町、東栄町、豊根村、奥三河スポーツ振興協議会
株式会社DIRECTIONS）

＜コース＞ 田口小学校（設楽町）～ふれあいパークほうらい（新城市）
約35km（コースのアップダウンのうち、上りの合計標高が2,600m）

＜出走者数＞ 263人（15都道府県）



四谷千枚田を走るランナー



リスをモチーフにした副賞

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

イ. スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ. スポーツ大会に関する助言・協力

奥三河Trail Running Race

- ＜県の取組＞・エイドステーションでの地域特産品の提供、チェンソーアートで制作したトロフィーなどによる奥三河の魅力発信
- ・トレランEXPO会場の盛り上げ、情報発信
 - ・SNS等を活用した大会PR など



エイドステーション



トレランEXPO



地元住民による選手応援



フィニッシュ

【大会の魅力】

- 四谷千枚田・鳳来寺・旧門谷小学校・旧豊橋鉄道田口線などの観光資源を楽しめるコース
- 地域住民によるおもてなし
(エイドでの地域特産品提供、地元ボランティアのふれあい)
- トレランEXPOにおけるステージイベント

奥三河
Trail Running Race

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

イ. スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ. スポーツ大会に関する助言・協力

マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知

○ 世界最大の女子マラソンである名古屋ウィメンズマラソン、名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン、名古屋シティマラソンで構成される大会（2012年から開催）。2014年から名古屋ウィメンズホイールチェアマラソンが加わった。

【前回大会】

＜開催日＞ 2024年3月8日（金）～10日（日）（第13回）

＜主催＞ マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知実行委員会
（日本陸上競技連盟、愛知県、名古屋市、名古屋市教育スポーツ協会、中日新聞社）

＜出走者数＞ 25,060人 ・名古屋ウィメンズマラソン：15,421人
・名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン：11人
・名古屋シティマラソン：9,628人



名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン



名古屋ウィメンズマラソン

※ギネス世界記録

名古屋ウィメンズマラソン
2018大会の出走者数
21,915人

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

イ. スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ. スポーツ大会に関する助言・協力

マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知

＜県の取組＞

- ・マラソンEXPOにおけるブース出展、ステージプログラムの実施
- ・あいちの花のPR（フィニッシュレーンの装飾、ビクトリーブーケ・オリーブ冠の贈呈等）
- ・エイドでの愛知の特産品の提供
- ・名古屋駅のデジタルサイネージを活用した大会PR
- ・Instagramを活用した地域の魅力発信
- ・海外からの参加者等に向けた「抹茶」のおもてなし
- ・ホイールチェアマラソン等のライブ配信 など



フィニッシュレーンの装飾



愛知県ブースの出展



抹茶によるおもてなし

【次回開催予定日】 2025年3月7日～9日

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

イ. スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ. スポーツ大会に関する助言・協力

RALLY三河湾

- 日本トップクラスの全日本ラリー選手権の第1戦として初開催
- 三河湾周辺の蒲郡市、岡崎市、豊川市、幸田町を舞台にSS（スペシャルステージ）を設け、青い海を背にした海岸線と、緑豊かな山間コースで戦いが繰り広げられる

【前回開催日】 2024年3月1日（金）～3日（日）

＜主 催＞ ラリー三河湾実行委員会（モンテカルロオートスポーツクラブ、愛知県、蒲郡市、(株)ラグナマリーナなど）

＜出場台数＞ 87台

＜観戦者数＞ 50,900人

＜開催場所＞ ラグーナ蒲郡（メイン会場）、竹島会場、西浦会場など



セレモニアルスタート



サービスパーク



セレモニアルフィニッシュ

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

イ. スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ. スポーツ大会に関する助言・協力

RALLY三河湾

<県の取組>

- ・名古屋市内でのラリーカーによるパレードラン「RALLY三河湾パレード in 名古屋」の開催
- ・観戦・観光ガイドブックの作成
- ・高速道路SA（NEOPASA岡崎）における車両展示及び大会PR
- ・スペシャルステージのライブ配信（YouTube）
- ・優勝したドライバー・コドライバー（ナビゲーター）に知事賞（トロフィー、あいちの花等）の贈呈 等



RALLY三河湾パレード in 名古屋の開催



観戦・観光ガイドブック



知事賞（あいちの花）の贈呈

【次回開催予定日】 2025年2月28日（金）～3月2日（日）

②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

イ. スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ. スポーツ大会に関する助言・協力

アイアンマン70.3東三河ジャパンin渥美半島

- 水泳、自転車、ランニングの3種目を連続して行うトライアスロン
- その世界的なシリーズ戦として2023年に田原市・豊橋市では初めて開催

アイアンマンとは

WTC(世界トライアスロン協会)が認定したレースで、アイアンマン（スイム3.8km、バイク180km、ラン42.195km、計226km）とアイアンマン70.3（スイム1.9km、バイク90km、ラン21.0975km、計113km）の2種類がある



【前回開催日】 2023年6月8日(木)～11日(日)
競技は10日(土)に実施

＜主 催＞ アイアンマン70.3東三河ジャパンin渥美半島実行委員会
(構成団体：愛知県、田原市、豊橋市、
一般財団法人東三河スポーツ地域振興財団 他)



②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進

イ. スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ. スポーツ大会に関する助言・協力

アイアンマン70.3東三河ジャパンin渥美半島

＜コース＞ スタート：白谷海浜公園（田原市）フィニッシュ：豊橋総合スポーツ公園



＜出走者数＞ 674人

- ＜県の取組＞
- ・観戦・観光ガイドの作成・配布
 - ・「aispo!」のSNSを活用した情報発信
 - ・競技終了後に開催するアワードパーティにて地域特産品を提供
 - ・大会の様子や開催地域の魅力を紹介する大会PRムービーの制作
 - ・テレビ番組等で大会の魅力や情報を放送 など

【次回開催予定日】 2025年6月6日（金）～8日（日）

あいちスポーツコミッション概要

設 立 日	2015年4月1日
目 的	全国、世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成をはじめ、スポーツ大会を活用して地域活性化を図るため、地域の関係者が一体となった取組を推進すること
参 画 団 体	306団体（2024年9月末現在）
事 業 内 容	①スポーツ大会に関する情報収集・発信 ②スポーツ大会を活用した地域活性化の促進 ア．スポーツ大会及び合宿の招致・誘致 イ．スポーツ大会での盛り上げ等地域振興策 ウ．スポーツ大会に関する助言・協力 ③会員相互の交流 ④その他、本会の目的を達成するために必要な事業
事 務 局	愛知県スポーツ局スポーツ振興課

③ 会員相互の交流

概要

- ①総会【年1回】・・・前年度の活動報告、当年度の事業計画決議、会員の意見聴取
- ②スポーツコミッション研究会【年2回】・・・会員向けの勉強会 及び 交流会
- ③スポーツコミッション講演会【年1回】・・・一般県民向けのシンポジウム

過去の実績(直近事例)

○研究会

- ・2024.10月開催

- ① アジア競技大会・アジアパラ競技大会について（県職員）
- ② スポーツ大会価値向上、スポンサー企業のスポーツ活用（民間企業CEO）
- ③ 交流会

○講演会

- ・2024.1月開催

Change～日本フェンシング協会の改革～

太田雄貴（日本フェンシング界初のメダリスト、
国際フェンシング連盟理事）

③ 会員相互の交流

① プロスポーツチーム等との連携

中日ドラゴンズ
親子観戦企画



中日ドラゴンズ「マスコットデー」企画
@ナゴヤドーム



名古屋グランパス
小中高生無料招待



トヨタヴェルブリッツ
親子観戦企画

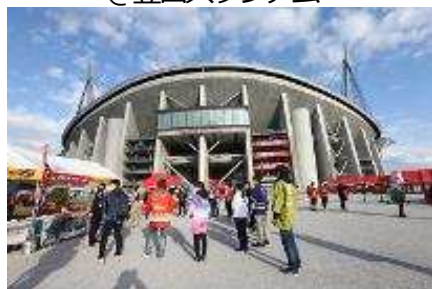


Bリーグ「愛知3クラブ合同」
スペシャルイラスト掲出@セントレア



② イベント等での連携

名古屋グランパス 自治体PRイベント
@豊田スタジアム



愛知バレーボールFES 2023
@豊田合成記念体育館 エントリオ



豊田合成ブルーファルコンハンドボール体験会、トークショー
@愛知県庁本庁舎



2023あいちバスケットボールフェスティバル
@ドルフィンズアリーナ



参考：県内のプロ・実業団の主なスポーツチーム

○プロ野球

中日ドラゴンズ

○男子サッカー／Ｊリーグ

名古屋グランパス

○女子サッカー／なでしこリーグ

朝日インテック・ラブブリッジ名古屋

○男子フットサル／Ｆリーグ

名古屋オーシャンズ

○ラグビー／リーグワン

[Division1] トヨタヴェルブリッツ

[Division2] 豊田自動織機シャトルズ愛知

○アメリカンフットボール／Ｘリーグ

名古屋サイクロンズ

○ソフトボール／ＪＤリーグ

デンソーブライトペガサス

東海理化チェリーブロッサムズ

豊田自動織機シャイニングベガ

トヨタレッドテリアーズ

○卓球／Ｔリーグ

[女子] トップおとめピンポンズ名古屋

○男子バスケット／Ｂリーグ

(B1) 三遠ネオフェニックス、シーホース三河、名古屋ダイヤモンドドルフィンズ、ファイティングイーグルス名古屋

○女子バスケット／Ｗリーグ

アイシンウィングス、デンソーアイリス、トヨタ自動車アンテロープス、トヨタ紡織サンシャインラビッツ、三菱電機コアラーズ

○バレー／ＳＶリーグ、Ｖリーグ

[SV男子] ウルフドッグス名古屋、ジェイテクトSTINGS愛知

[V 男子] アイシンティルマーレ碧南、大同特殊鋼知多レッドスター

[SV女子] デンソーエアービーズ、クインシーズ刈谷

○ハンドボール／リーグＨ

[男子] 大同特殊鋼Phenix TOKAI

豊田合成ブルーファルコン名古屋

トヨタ車体ブレイヴキングス刈谷

[女子] HC名古屋

(2024年8月末現在)

参考

愛知県のスポーツに関する取組み

あいちスポーツイノベーションプロジェクト【1】

STATION Aiオープン、愛知国際アリーナ開業、アジア・アジアパラ競技大会を始めとする国際スポーツ大会の開催などを起爆剤として、産学官等の連携により、スポーツ分野のイノベーションを推進し、革新的な事業・新サービスの創出や県内外への展開に取り組むことで、スポーツの成長産業化及びスポーツを通じた地域活性化を図ることを目的とする。



2024年
STATION Aiのオープン



2025年
愛知国際アリーナ（IGアリーナ）の開業



2026年
アジア・アジアパラ競技大会の開催

スポーツ分野のイノベーションを推進、革新的な事業・新サービスの創出、県内外への展開

スポーツの成長産業化、スポーツを通じた地域の活性化の期待

あいちスポーツイノベーションプロジェクト【2】

「スポーツ産業をささえる人材の育成」、「アスリート・スポーツチームの価値向上」、「スポーツと他産業の融合」の3つの柱を推進。



主な取組

- ・ スポーツビジネス講座の開催
- ・ 各大学が行うスポーツマネジメント人材育成の取組



主な取組

- ・ 集客力向上を目標としたスポーツチーム等との連携共創事業
- ・ 障害者も参加可能なメタバース等を活用したマラソン大会のコンテンツ開発



主な取組

- ・ スポーツテックコンテンツを活用して県民が幅広くスポーツにふれる機会を創出
- ・ スポーツチームと他産業の共創による地域課題解決型モデル事業

【柱横断の取組】

- ・ スポーツに関連するイノベーションの情報収集と発信
- ・ メンバー相互間の連携促進・情報交換
- ・ その他、コンソーシアムの目的を達成するために必要な活動

あいちスポーツイノベーションプロジェクト【3】

○ AiSIAアカデミー（柱1：スポーツ産業をささえる人材の育成）

- 学生を対象としたスポーツビジネスに関する全5回の連続講座を開催。
- スポーツビジネスに関するセミナーと、スポーツチームが集客力を向上させるための取組を検討するワークショップで構成。
- スポーツビジネスの第一線で活躍する講師を招へい。

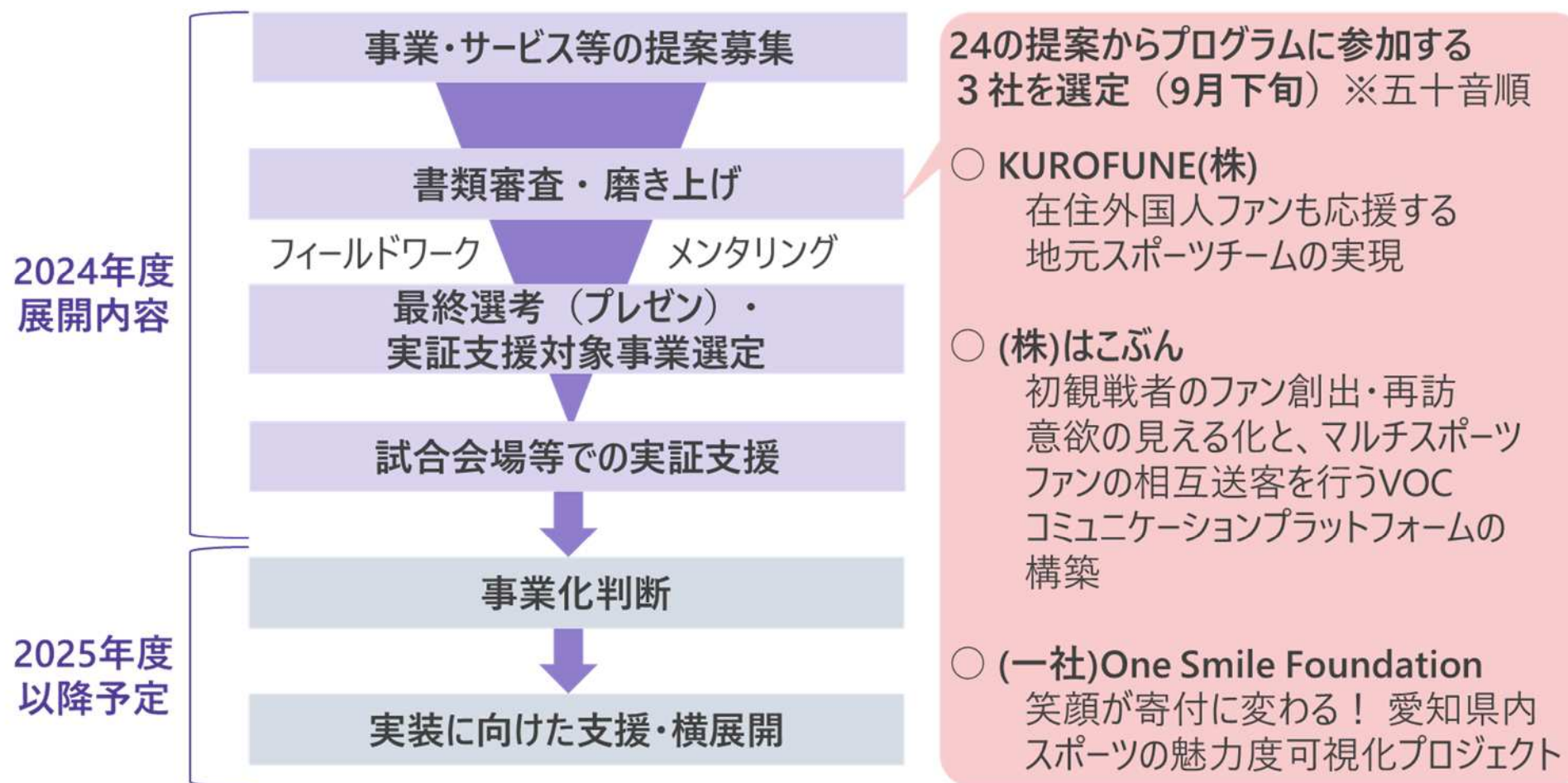
(株)ガスモールシングス 代表取締役社長 田上 悦史 氏 / トヨタヴェルブリッツ 事業リーダー 飯田 倫大 氏

開催回	内容	会場
第1回 11/17(日)	・ セミナー テーマ「スポーツビジネスとは」 テーマ「地域に根差したチームづくり」 ・ ワークショップ	JPタワー名古屋 (名古屋駅至近)
第2回 12/15(日)	・ セミナー テーマ「スポーツマーケティングの手法」 ・ ワークショップ	JPタワー名古屋 (名古屋駅至近)
第3回 1/11(土)	・ フィールドワーク トヨタヴェルブリッツ（ラグビー）の試合会場	長良川競技場 (岐阜県岐阜市)
第4回 1/25(土)	・ ワークショップ	JPタワー名古屋 (名古屋駅至近)
第5回 2/16(日)	・ 発表	JPタワー名古屋 (名古屋駅至近)

あいちスポーツイノベーションプロジェクト【4】

○ AiSIAアクセラレーションプログラム（柱2：アスリート・スポーツチームの価値向上）

スポーツチーム共通の課題である「集客力向上」に関する事業・サービス等の提案を公募・選定し、試合会場等での実証支援等を行い、実装に向けた取組を目指す。



あいちスポーツイノベーションプロジェクト【5】

○ スポーツチームと他産業の共創による地域課題解決型モデル事業 (柱3：スポーツと他産業の融合)

- ・ スポーツ×他産業の共創により、地域課題の解決を目指す取組を県がモデル事業として採択し、その実証を委託。

【募集期間】 9月13日から10月4日まで

【予算額】 300万円

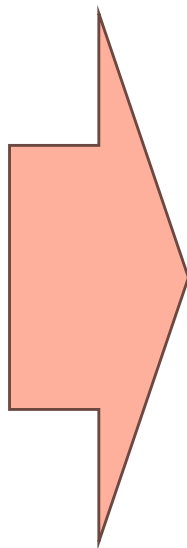
スポーツチーム等のアセット

- 施設・ノウハウ
 - 発信力・集客力
 - アスリート
- 等



他産業

- ものづくり
 - 観光
 - 教育
 - 飲食
- 等



地域課題の解決

【例】

- 部活動の地域移行によって生じる課題の解決
- 廃棄物の削減等による持続可能な社会の実現
- 周遊性の向上による地域の交流人口の拡大
- 地産地消の促進による地域経済の活性化
- 運動習慣の定着等による地域住民の健康増進

あいちトップアスリート発掘・育成・強化事業

○ 事業の目的

2026年に開催するアジア競技大会やオリンピック等の国際大会で活躍できる地元選手の発掘・育成と、選手強化を一体的に実施することで、アジア競技大会等の日本代表に本県ゆかりの選手を多数輩出することを目指す。

○ 事業の内容

・「あいちトップアスリートアカデミー事業」

小中学生を中心に県内全域からスポーツ能力の高い子どもたち等を発掘し、競技団体と連携してトップアスリートを目指して育成する。



【あいちトップアスリートアカデミー開講式】

・「オリンピック・アジア競技大会等選手強化事業」

愛知県にゆかりのある、日本代表・日本代表候補のトップアスリートを「強化指定選手」として認定し、合宿・大会への参加費や、競技用具の購入費を補助するなど、アスリート活動を支援し、競技力のさらなる向上を図る。

あいちトップアスリートアカデミー【1】

○ コース

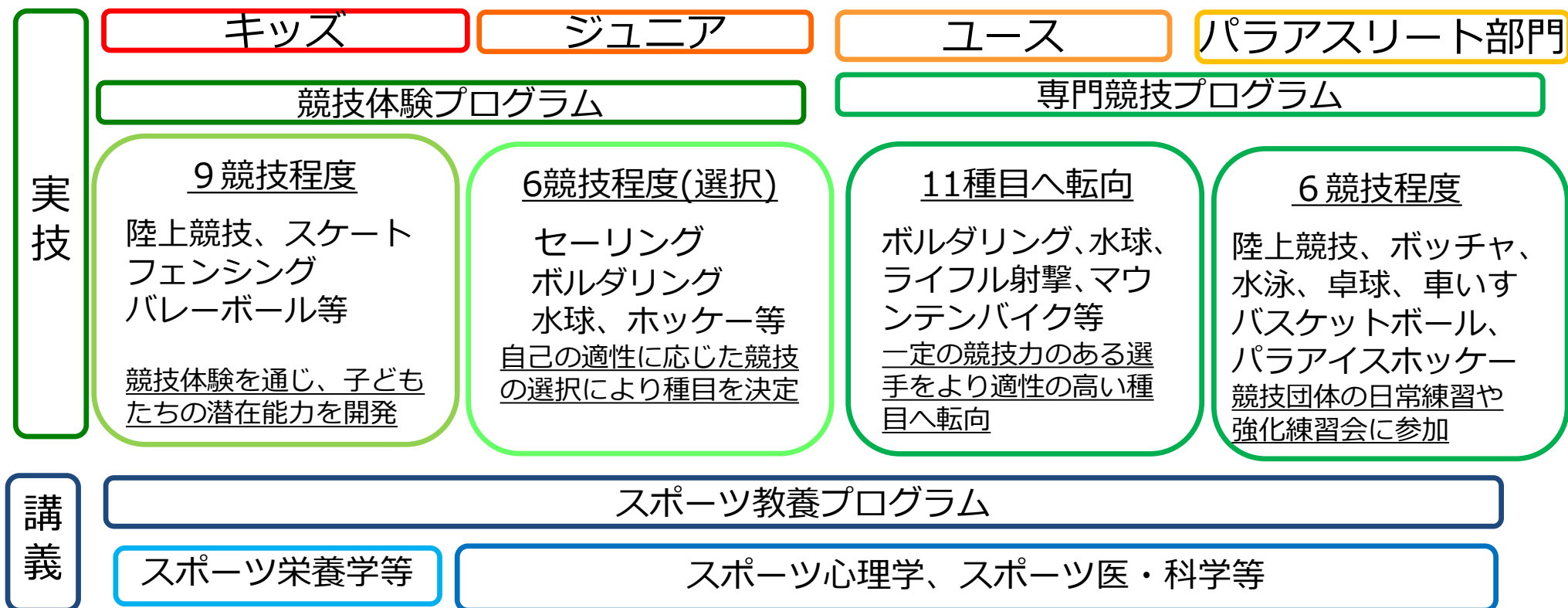
- ・キッズ・ジュニア（対象：愛知県内在住の小4～中2）
様々な競技体験を通じ、潜在的な運動能力を引き出すとともに、適性に応じた競技種目に導く。
- ・ユース（対象：愛知県内在住の一定の競技力がある中学生以上）
現在取り組んでいる競技から、より適性が高い競技種目に転向して、トップアスリートになることを目指す。
- ・パラアスリート部門（対象：愛知県内在住の小学4年生以上の
肢体不自由者・知的障害者・視覚障害者）
競技団体のもとで日常練習や強化練習会に参加し、トップパラアスリートを目指す。



	2024年 3月	4月	5月	6月	7月	8月～ 2025年3月	3月
キッズ・ジュニア	募集期間	選考会			合格発表 開講式	育成プログラム	修了式
ユース				選考会			
パラアスリート部門							

あいちトップアスリートアカデミー【2】

○ 育成プログラムの内容



○活動頻度

キッズ、ジュニア：毎週土曜日の夕方～夜に育成プログラムを実施（30回程度）

ユース、パラアスリート部門：競技団体の活動時（週1～2回程度）

オリンピック・アジア競技大会等選手強化事業

- 対象
 - ・競技団体から推薦された日本代表レベルの競技力を有する選手（年齢制限なし）
- 強化指定選手
 - ・オリンピック・アジア競技大会等強化指定選手 150名程度
 - ・パラリンピック・アジアパラ競技大会等強化指定選手 30名程度代表者に対して、知事から認定証を授与予定

※写真は2024年度の認定証授与式の様子
左から

●西本 拳太（にしもと けんた）選手

競技：バドミントン

所属：株式会社ジェイテクト

●平井 瑞希（ひらい みずき）選手

競技：水泳（競泳）

所属：アリーナつきみ野スポーツクラブ／日本大学藤沢高等学校

●大島 健吾（おおしま けんご）選手

競技：陸上競技

所属：名古屋学院大学AC



障害者スポーツ体験・交流イベントの開催

○ 目的

障害者スポーツの普及や共生社会の実現に向け、障害のあるなしにかかわらず誰もが障害者スポーツを体験し、交流を深めるイベント「パラスポPARK」を2022年度から開催。

○ 2024年度開催予定

- 1 開催場所：ドルフィンズアリーナ（愛知県体育館）
- 2 開催時期：2025年2月22日（土）
- 3 イベント内容

（1）障害者スポーツ競技体験

- ・ボッチャ、車いすバスケットボール、車いすバドミントン、バーチャルチェアスキーなどの競技体験

（2）ステージイベント

- ・オリンピックの小椋久美子氏（元バドミントン選手）やパラアスリートによるトークショー

（3）展示ブース

- ・競技用車いすの展示等



〔 2023年度パラスポPARK
競技体験の様子 〕

第79回全国レクリエーション大会inあいち



目的

全国からレクリエーションの愛好者等が集い、レクリエーションの体験を通じて県民と交流することで、県民のレクリエーションに対する興味・関心を高めるとともに、レクリエーションに関する研究や実践の成果を集結することにより、レクリエーションの振興を図る。

概要

○主催

(公財) 日本レクリエーション協会、(特非) 愛知県レクリエーション協会、
愛知県、名古屋市、会場所在市町村

○開催期間

2025年10月31日(金)～11月2日(日)

○会場

愛知県芸術劇場、愛・地球博記念公園(モリコロ
パーク)、市町村のスポーツ施設 ほか

○プログラム

- ・レクリエーション体験ひろば
一般の方向けのレクリエーションの体験の場
- ・スポーツ・レクリエーション交流大会
愛好者がレクリエーションの腕を競う大会
- ・研究フォーラム
レクリエーションに関する研究・実践の成果発表

モルック



ダーツ、ペタンク、モルックなど、気軽に楽しめる種目の体験ひろばを各地で開催

➡ 体を動かすきっかけに！



ペタンク

県営スポーツ施設【1】



【ドルフィンズアリーナ】

〔施設概要〕

- 開館：S39.10
- 延床面積：17,240.67㎡
- 観客席1階：3,032人
- 2.3階：4,375人
- 第1競技場、第2競技場、フィットネス場等



【武 道 館】

〔施設概要〕

- 開館：H5.8
- 延床面積：15,715.60㎡
- 観客席：2,463人
- 第1～第6競技場等
- 宿泊室 50人



【いちい信金スポーツセンター】

〔施設概要〕

- 開 場：S42.4
- 延床面積：2,331.28㎡
- 野球場3面、テニス場人工芝全天候8面、第3種陸上競技場、プール（公認50m、25m）等

県営スポーツ施設【2】



【口論義運動公園】

[施設概要]

- 開 場：S58.10
- 延床面積：8,237.73㎡
- 野球場3面、テニス場人工芝全天候16面、サッカー場人工芝1面、プール（公認50m、公認25m）等



【総合射撃場】

[施設概要]

- 開 場：H5.8
- 延床面積：6,177.53㎡
- 第1射撃場 50射座
- 第2射撃場 50射座
- 第3射撃場 5射座
- 第4射撃場 4面、併用1面

IGアリーナ（愛知県新体育館）の整備【1】

- 2026年のアジア競技大会・アジアパラ競技大会にも利用できるよう、2025年7月のオープンに向けて新体育館の整備を推進
- 2021年5月31日付で株式会社愛知国際アリーナと特定事業契約を締結し、本体工事に着手
- 最大手移動通信企業（株式会社NTTドコモ）と世界トップのアリーナ運営者（Anschutz Sports Holdings（Anschutz Entertainment Group））、コンセッション事業の豊富な経験を有する企業等により、世界最高レベルのアリーナを実現

事業方式

- ・PFI手法「BTコンセッション方式」により、株式会社愛知国際アリーナが、設計・建設から維持管理・運営までを一体として実施

事業者等

事業者名：株式会社愛知国際アリーナ

代表企業：＜設計・建設時＞

前田建設工業株式会社

＜維持管理・運営時＞

株式会社NTTドコモ

その他の：Anschutz Sports Holdings

出資者（Anschutz Entertainment Group）

三井住友ファイナンス&リース株式会社等

契約金額：サービス購入料 約256億円

(参考)設計・建設費相当額 約456億円

施設デザイン・景観

IGアリーナ外観デザイン



©Aichi International Arena Co.,Ltd.

画像はイメージです。デザインなどは変更になる場合があります。

- ・世界に誇る名古屋城の城跡に広がる名城公園の自然と一体感を創出する「樹形アリーナ」
(隈研吾建築都市設計事務所による外観デザイン)

○建築面積 約26,500㎡

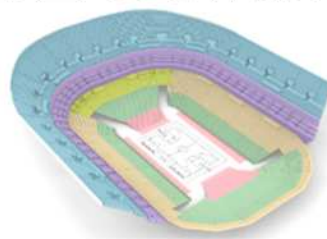
○延床面積 約63,000㎡

○設置場所 名城公園北園

IGアリーナ（愛知県新体育館）の整備【2】

施設計画

- ・メインアリーナは「ハイブリッドオーバル型（オーバル型＋馬蹄型）」の観客席と30m以上の天井高さを確保
- ・オーバル型が適した各種スポーツから馬蹄型が適した音楽イベント等まで質の高い観戦・鑑賞体験を提供するグローバル水準の施設となる
- ・メインアリーナ観客席数
最大収容人数 17,000人（立見含む）
大相撲開催時 11,000席（両国国技館と同程度）
フィギュアスケート 国際大会開催時14,100席
バスケットボール 国際大会決勝戦時15,000席



【大相撲開催イメージ】



【バスケットボール試合開催イメージ】



維持管理・運営

- ・最新技術を活用した維持管理システムを導入し、計画的にアップデートすることで、常に最先端のスマートアリーナとし、顧客満足度の最大化を推進
- ・世界最先端のスマートアリーナにふさわしい最新の観戦・鑑賞体験を国内最大相当数のビジョン映像により演出
- ・ICTを活用して圧倒的なファンエクスペリエンスを提供

スケジュール

2021年度 : 契約、設計
2022年度～ : 設計・建設工事
2025年度 : 7月オープン
2026年度 : 第20回アジア競技大会
(2026/愛知・名古屋)
第5回アジアパラ競技大会
(2026/愛知・名古屋)

アリーナ名称

ネーミングライツにより、アリーナ名称は「IGアリーナ」に決定（2035年まで（予定））

**ご清聴、
ありがとうございました！！**